

★ ★ ★ ★ ★ アメリカ切手展 ★ ★ ★ ★ ★

america'21

American Philatelic Exhibition



Robert A. Siegel Auction Galleries, INC. Sale #1137

今年が発行 150 年となる 1871 年発行の 500 ドル印紙。
3 色刷で『大ペルシア絨毯』の愛称がついている。
わずか 210 枚しか発行されなかった。

2021 年 7 月 2 日(金)~4 日(日)
於：「切手の博物館」(東京・目白)
主催：公益財団法人日本郵趣協会・アメリカ郵趣研究会
The U. S. Study Group, JPS
後援：アメリカ大使館

◎ ご挨拶

私たちアメリカ郵趣研究会は、毎年アメリカ合衆国の独立記念日前後にアメリカ切手展を開催しています。2020年は新型コロナウイルスの感染拡大により開催できず、大変残念でした。2021年も困難な状況の中でしたが、切手展を開催することができたことは、大変うれしく思っております。また、後援いただいたアメリカ大使館にも心から感謝申し上げます

アメリカ切手展は、切手収集家の皆さんだけでなく広く一般の方にもアメリカ切手収集の楽しさを知っていただくことを目的としています。今年は感染予防の観点から、密を避けるために展示フレーム数を例年より10フレーム以上減らして30フレームとしております。それでも1847年の最初の切手から2020年発行の記念切手まで、アメリカ切手の全体像を見ていただけるよう展示しております。また、アメリカ郵趣研究会会員の日ごろの研究成果を発表する1フレーム作品も9作品展示しております。

気に入った切手や興味を持たれた作品などがありましたら、簡単な説明をさせていただきますので、会場におります研究会会員にお声がけ下さい。また、写真も自由に撮っていただいても結構です。

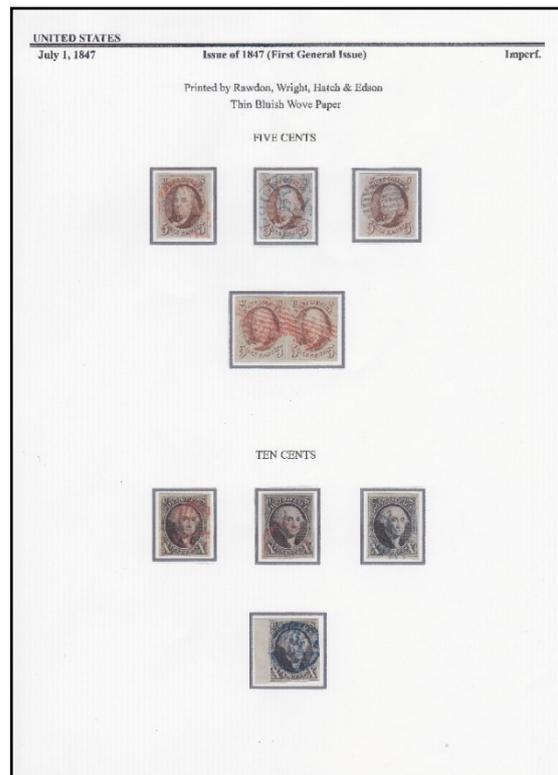
どうか、ごゆっくりご観覧ください。

アメリカ郵趣研究会入会のご案内

会費 一般会員年会費 2500円
 PDF会員年会費 1500円
 会報 The U. S. Philately
 カラー24ページ 年6回発行
 例会 毎月第3土曜日 11:30~13:00
 目白: 切手の博物館3階会議室
 特別例会 スタンプショウ・JAPEX等
 切手展 毎年7月上旬に開催
 入会申込・お問い合わせ先
 メール: info@jps-ussg.com
 郵送: 〒240-0031 横浜市保土ケ谷区
 藤塚町12-1-N406 小林方

◎ 第2~第5フレーム

1847年シリーズ~1908年シリーズ



アメリカ合衆国として最初の切手は、1847年7月1日に発行されました。日本では徳川幕府の第12代将軍・徳川家慶（いえよし）の時代で、ペリーが日本に来航する6年前、明治元年の21年前にあたります。最初の切手は5セントのフランクリンと10セントのワシントンの2種類のみで、民間の印刷会社が製造しました。

その後、発行される種類も増え、様々な人物の肖像や題材が取り上げられるようになりますが、ワシントンとフランクリンは1965年シリーズまで常に取り上げられています。また、最初は無目打でしたが、その後目打が入り、切手のサイズも小さくなったり、大きくなったりと変化していきます。

第5フレームの1894年シリーズからは、印刷局製造の切手となります。1908年シリーズは、全ての額面がワシントンとフランクリンの肖像だけで構成されたシリーズです。用紙のすかしの変化や目打の変化、印刷方式の変化など、カタログのメインナンバーだけでも200種以上になる大規模なシリーズとなっています。

america' 21 出品作品

◎ 第6～第10フレーム 1922年シリーズ～1975年シリーズ



第6フレーム：1922年シリーズ

このシリーズは有名な人物の肖像や代表的な建物・風景を題材としています。

第7フレーム：大統領シリーズ

1938年から発行された大統領シリーズは歴代大統領の肖像を就任順に使ったシリーズです。また、初代大統領から第22代大統領までは切手の額面と大統領の就任順序が一致するようにしてあります。

第8フレーム：リバティーシリーズ

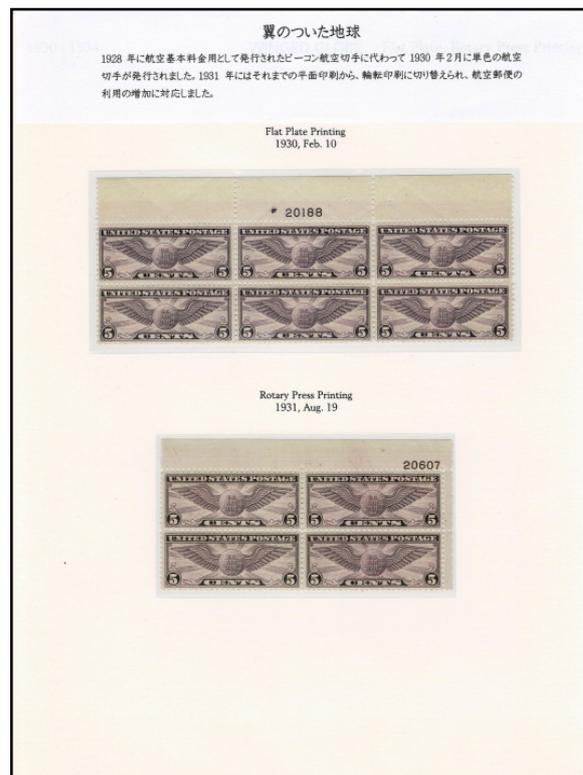
1954年から発行された普通切手シリーズは、国内書状基本料金（3¢）と外国向け書状基本料金（8¢）の両方を自由の女神の図案としたことから、リバティーシリーズと呼ばれています。

第9フレーム：プロミネントアメリカンシリーズ 1965年から発行されたシリーズは、大統領や政治家以外にもアインシュタインやヘンリー・フォードなど著名なアメリカ人が図案に取り上げられています。

第10フレーム：アメリカーナシリーズ

1975年からのシリーズは、アメリカの理念を象徴する図案が採用されています。

◎ 第11～15フレーム 1980年以降の普通切手・航空切手

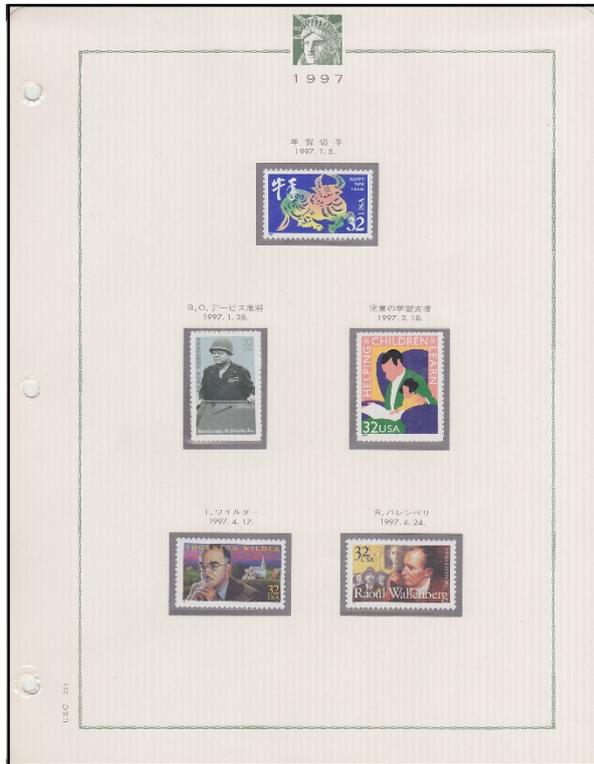


1980年以降のアメリカの普通切手の特徴は、同じ時期に複数のシリーズが並行して発行されていることです。ここでは、その小さなシリーズごとに整理してみました。

またこの時代は料金改定が頻繁に行われ、その都度新料金に対応した切手を大量に発行する必要が生じました。新料金が決まる前に印刷に入らないと間に合わないので、アルファベットで新料金を表す切手も誕生しました。その負担を軽減するために、“Forever”という表示を入れて、その後の料金改定に係わらず、国内や海外の書状基本料金として使える、いわゆる永久使用切手が生まれました。

第14フレームと15フレームは航空切手です。アメリカは国土が広いことから、早くから航空機による郵便物の輸送に取り組み、最初の航空切手が1918年（大正7年）に発行されています。ここでは最初の航空切手から第二次世界大戦直後のあたりまでの航空切手を、製造の特徴がわかる版番号の付いた部分で紹介します。

◎ 第16~20フレーム
20年前の記念切手
最近の記念切手



アメリカの記念切手は1893年に発行されたコロンブス博覧会記念切手が最初となりますが、今回は20世紀末の記念切手と、2019年以降の最近の記念切手を展示します。

記念切手は発行した国が世界に対して広く知らせたいテーマが取り上げられることが多いので、発行した国の文化やものの考え方、価値観などが見えてきます。

ご覧になる方によってさまざまな感想を持たれると思いますが、例えば人種間格差解消の啓発を目的として、大きな業績を残した黒人を取り上げる『Black Heritage』シリーズは20年前も今も発行されています。また、クリスマス切手は1962年から発行されていますが、宗教の偏りをなくすために、ユダヤ教のハヌカー祭やアフリカ系アメリカ人のクワンザ祭の切手も約20年前から発行されており、東洋の12支を描く年賀切手もこの系列にあります。

その他、人物、芸術、自然、宇宙など、切手に取り上げられた題材を見ていくことで、アメリカをより深く知るきっかけとなるのではないかと思います。

◎ 第21~22フレーム
アメリカから日本へ書状5¢

太田隆啓



アメリカから日本に宛てた書状料金が5¢だったのは、1876年から1953年までの実に77年半という長い期間でした。それぞれの時代の5¢切手を一枚貼った書状を追った作品です。

上に掲載したリーフは、外国郵便がUPUレートになってからの1879年と1880年に差し出された書状が2通です。2通とも東京帝国大学に招聘されたメンデンホール教授宛てに故郷のオハイオ州から届いたものです。使用している切手は、普通切手の1870年シリーズの第12代大統領Z. Taylorを描いた5¢ (#185)です。

(追記) Thomas C. Mendenhall (1841-1924)は、米オハイオ州出身。物理学者、気象学者。オハイオ州立大学の物理学教授。

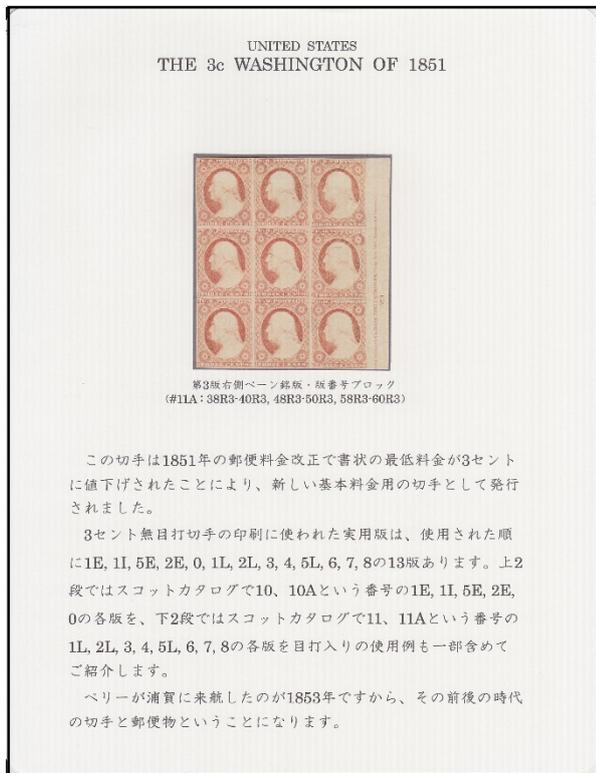
エドワース・S・モースの推薦で、1878年、東京帝国大学の物理学教授に迎えられ、3年間務めた。地震の多い日本での日本地震学会の創立に貢献した。

日本からの留学生に斡旋など支援し、若い研究者の育成に尽くし、1914年(M44)の再来日の折、勲二等に叙せられた。

◎ 第23 フレーム

1851年シリーズ3¢ワシントン

小林伸佳



この切手が発行された1851年は、日本では江戸時代末期、ペリーが浦賀に来航する2年前にあたります。

アメリカは1847年に最初の切手を発行しましたが、1851年に郵便料金の大幅な改正（引き下げ）が行われ、郵便料金を前納すれば、3セントでほぼ国内全土に手紙を出せるようになりました。この3セント切手はこの新しい国内封書料金用に発行された切手で、大量に使われました。

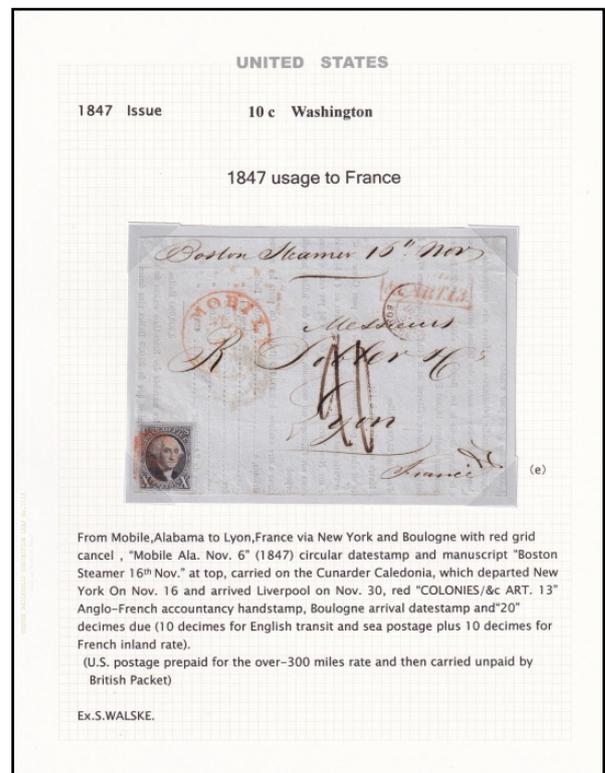
大量に印刷する技術はまだ発展途上で、この切手の場合は、切手の原版を印刷用の実用版に転写した後、切手の輪郭をはっきりさせ、転写が弱かったところを修正するために1枚1枚リカットが行われました。そのためどの実用版のどの位置にあった切手かを特定することができ、収集家の大きな楽しみとなっています。

無目打なので使用するためにはハサミで切り離す必要があります。切手と切手の間のマージンが狭いため、印面に切り込んでいない切手を選ぶのに苦労させられます。

◎ 第24 フレーム

米国19世紀の外国郵便

槇原晃二



この作品では、19世紀の米国で取り扱われた外国郵便のカバーを対象とし、主に英国、フランス、ドイツ宛てのカバーを中心に構成しました。

19世紀の初期まで米国とヨーロッパなど外国との間の郵便は、帆船によって運ばれた不規則で不確実なものでした。1840年には、蒸気船により、2週間に一度郵便物を輸送するという英国政府支援のサービスも開始され、大西洋航路をはじめ、太平洋航路など米国と外国との郵便事業も急速に発達していきました。また、郵便サービスの国際協定である一般郵便連合（GPU後のUPU）が外国への郵便手続きを1875年7月以降簡素化するまでは、郵便を交換するすべての国が互いに二国間で郵便条約を結ぶとともに、条約がない場合、郵便は中間国を経由して転送していました。米国の場合も、外国との郵便は、郵便物の取り扱いを規定する二国間条約の条件、ルート、最終目的地などによって非常に複雑な制度運用となっていました。

◎ 第25フレーム

米国平版印刷1セント切手

奥山昭彦



米国は切手発行以来、伝統的に凹版での郵便切手の製造が不文律とされてきました。これは切手が有価証券であるため、偽造防止を目的にしたものでした。

米国が第一次世界大戦に参戦し、戦費調達のため、国内郵便物に戦時税を課したため、低額切手が不足して出現したのが、この切手です。

戦時下の物資不足のため、オフセット印刷による暫定措置だったため、製版や印刷時のバラエティや中間無目打など製造面のバラエティが豊富で、使用面も欧州遠征軍による軍事郵便や在中国局使用例、国内郵便料金変更など、伝統郵趣の要素を充分楽しめる切手です。

アメリカ部会発足当時の会報に、魚木先生が連載された〈普通切手研究〉オフセット切手の解説で魅了されて40年近くなりますが、この展示で一人でも多くの方に、オフセット切手に興味を持っていただければ幸いです。

◎ 第26フレーム

1922年シリーズ平面印刷の切手帳ペーン

大越紳一郎



アメリカの切手帳ペーンは、シート切手を裁断して作るのではなく、切手帳ペーンを印刷するための特別構成の印刷用実用版で印刷されています。1922年シリーズの凹版平面印刷の切手帳ペーンでは、切手の印面が360面（切手6枚で構成される切手帳ペーンが60枚）の印刷用実用版が使われました。

切手帳ペーンの印刷用実用版には、縦と横に十文字にガイドラインが引かれており、切手帳ペーンに見えるガイドラインの位置などによって、印刷用実用版上の位置が12種類に分類されています。

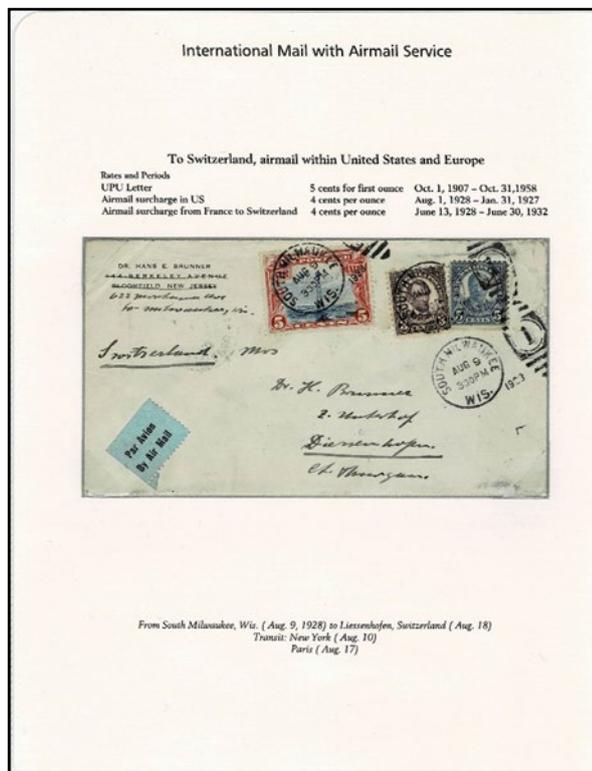
また、切手帳は1セントペーンだけを綴じたもの、2セントペーンだけを綴じたもの、1セントペーンと2セントペーンを組み合わせたものなどがあります。

この作品では、1922年シリーズの凹版平面印刷の1セントと2セントの切手帳ペーンを対象として、切手帳の構成、切手帳ペーンの種類、切手帳ペーンの使用済、切手帳ペーンを貼ったカバーなどを展示しています。

◎ 第27フレーム

戦前の外国宛航空郵便

入江司



1946年11月1日にUPU条約により外国宛航空料金の体系が簡素化され料金が値下げされました。アメリカの外国宛航空料金は、宛先により10セント、15セント、25セントの3種類に統合されました。

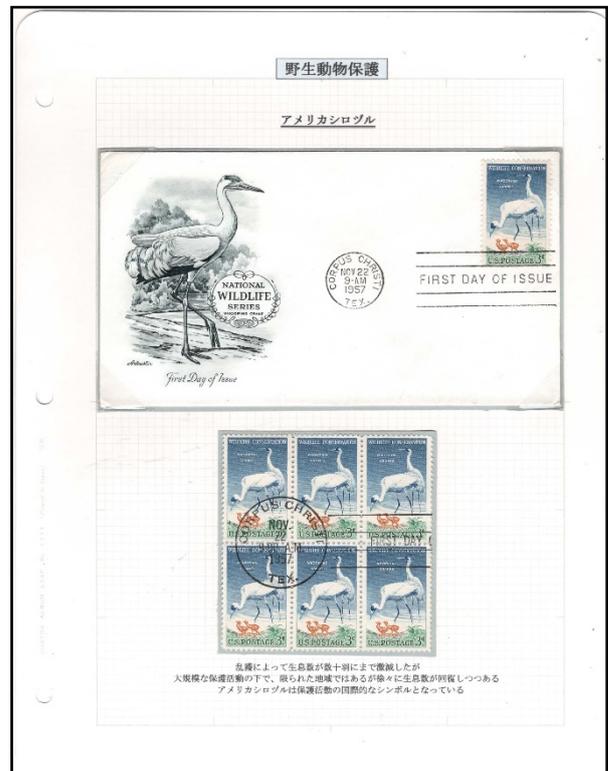
アメリカ国内では、1924年に開設された大陸横断航空郵便路の開設以降、外国郵便をより早く輸送する手段としても利用されることになりました。欧州・アジア宛の外国郵便は差立局から国際交換局に送られ船便で相手国に送られます。外国宛の郵便物の出口となる国際交換局までを航空便で運び配達までの日時の短縮を図りました。

それ以外の地域については、太平洋、大西洋を挟むため相手国までの連続した航空路が存在していませんでした。このため、アメリカ国内を航空扱いし、船便でヨーロッパ、アジア等に運ばれ、再び相手国まで航空扱いすることになりました。この場合の外国宛航空料金は外国宛書状料金+国内航空料金+国外航空料金の合計となります。ここでは、1947年以前の外国宛の航空郵便の例を展示します。

◎ 第28フレーム

野生動物保護シリーズ

賀川彦治



米国郵政局は1956年から1972年にかけて連邦政府や州政府によって保護されている野生動物たちを描いた切手を発行しています。

描かれている動物たちはいずれも北米大陸の開拓によってその生息環境を奪われたり、狩猟による乱獲にあって絶滅の危機にあった動物たちです。

20世紀初頭、野生動物たちのこのような状況を憂いた動物愛護家たちの懸命の努力が実り連邦政府では野生動物保護に関する様々な法律が整備され、一方で自然環境の保護活動を目的にした強力な民間団体が幾つも生まれました。

これらの団体は現在も健在で連邦政府の施策に大きく関わっています。

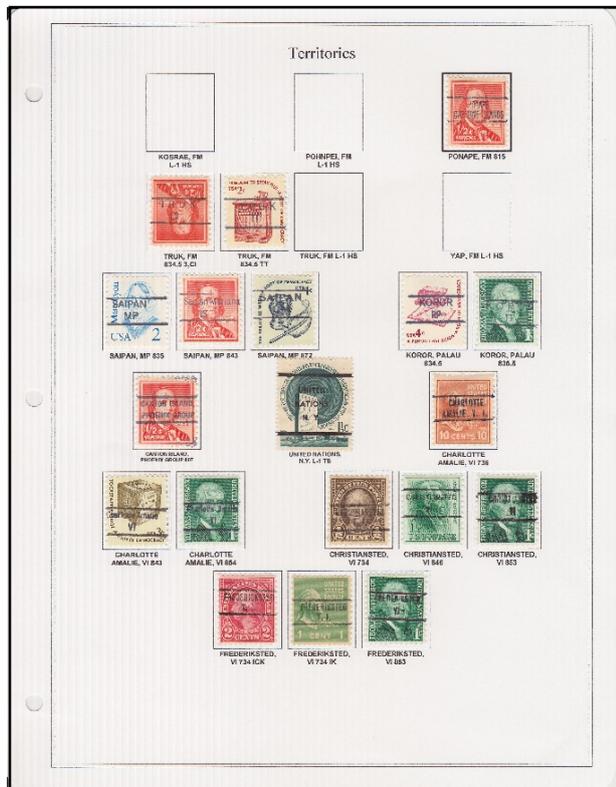
野生動物保護に限らず自然環境の保護は遠い過去の問題ではなく極めて今日的な問題であると思います。

作者としてはそうしたことに思いを馳せて本展示を御覧いただければ幸いです。

◎ 第 29 フレーム

米国属領とアラスカ州のプリキャンセル

魚木五夫



第 30 フレーム

アメリカオリンピック切手

豊田謙



地方型のプリキャンセルは局型のように印刷局によるきちんとした製造記録があるわけではないので今でも収集家による新しい発見があり、カタログも常に改訂されています。

属領やアラスカ州はプリキャンセルの発行数が少ない局が多く困難な対象ですが、最新の 2019 年版の PSS のカタログに基づく Town & Type アルバムに整理したものを展示します。

コロナ禍で「TOKYO2020」が延期される中、アメリカで発行されたオリンピック切手を紹介します。アメリカ郵政公社では夏季・冬季大会の記念切手を発行し、オリンピックチームのオフィシャルスポンサーになった事も有りました。

しかし2008年北京大会以降オリンピック関連の切手は発行されていません。

アメリカ郵趣研究会(<http://www.jps-ussg.com>)

2021 年 7 月

年会費 普通会員 2500 円

PDF 会員 1500 円

会報 The U. S. Philately カラー24 ページ 年 6 回発行

例会 毎月第 3 土曜日 11:30~13:00 目白: 切手の博物館 3 階会議室で開催

特別例会 スタンプショウ・JAPEX 等で随時開催

切手展 7 月上旬に目白: 切手の博物館で開催

PDF 会員初年度年会費無料キャンペーン実施中

入会申込・お問い合わせ先

メール: info@jps-ussg.com

郵送: 〒240-0031 横浜市保土ヶ谷区藤塚町 12-1-N406 小林方 アメリカ郵趣研究会